

平成 29 年度 校長だより



不撓不屈

【糸満市立糸満中学校 教育目標】
 【知】主体的に学び
 【徳】心豊かで勤労を大切にする
 【体】心身ともに健康な生徒

【 強い意志をもって、どんな苦労や困難にもくじけないこと 】

発行者 校長 與那覇正樹

新しい授業に向けてⅡ～授業改善の取組「主体的・対話的で深い学び」～

学校便り第 9 号 (7 月 7 日発行) において、文部科学省が推進する今後の授業の在り方や方向性について簡単に説明し、糸満中学校の授業の取組「主体的・対話的で深い学び」をキーワードにした授業を紹介させていただきました。その第 2 弾のお知らせで、各先生方が推進する授業改善の様子を簡単に紹介します。

また、9 月 1 日の始業式に生徒の皆さんに話をしましたが、「数十年先は変化の激しい時代が到来し、現在、世界に存在しない新たな職業が出てくるといわれています。変化の激しい時代に対応するために、自ら積極的に学習に向かい、他の人の考えや意見を取り入れ、様々な方向から考え説明したり、物事を解決する能力が必要になります」そこで 2 学期に皆さんに意識してほしいこととして **コミュニケーション能力を高める** ことをあげました。

具体的には

- ① 考え(答え)を説明・書くことができる
- ② 疑問に思うことを聞くことができる
- ③ 他者(先生・友達)とかかわる

是非、2 学期は意識して取り組んでいくことを期待しています。今後も校長便りで授業を紹介していきますのでご協力をお願いします。

「主体的・対話的で深い学び」

国語科: 3 年全クラス 【宮平圭一郎教諭】

～商品広告のコピーを比較し批評文を書こう!!～

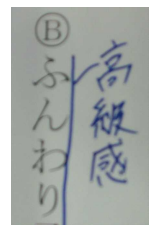
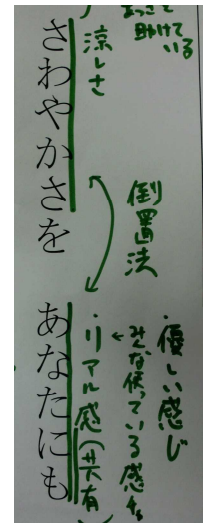
(「主張」と「根拠」についてまとめる)



7 月 6 日に 3 年生全クラスで宮平圭一郎教諭による国語科の公開授業が実施されました。準備された商品コピーを批評の対象とし、構成(ワーク)シートをもとにグループで主体的に話し合い、倒置法や比喻、擬人法など、これまで学習した知識を活用しコピーの良さについて意見を出しました。次の時間には交流した意見をもとに自分の考えをまとめ、批評文を書く作業に移る流れです。批評文を書くために、①の A・B のコピーを選択、

②において構成型を選択し、主張と根拠についてまとめるための前段階の授業でした。生徒の皆さんからも「グループの人たちの意見を聞いたからよかった」「席替えをしたばかりのグループだったけど積極的に話し合い活動ができた。それをもとにワークシートを書くことができたので良かったです」

(なおたか)・・・次の時間はさらに深まる授業につながる事が確信できる授業で感心させられました。宮平先生、3 年生の皆さん、ありがとうございました。



「主体的・対話的で深い学び」

家庭科: 2 年 1 組【玉城智子教諭】

調理実習

～(ジュシー・アーサ汁)地域の食文化を知ろう～

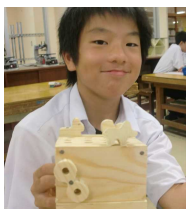
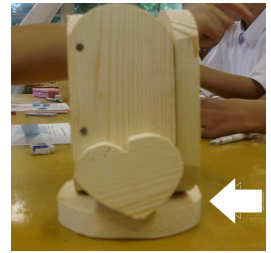
10 月 10 日に 2 年 1 組で玉城智子教諭による家庭科の調理実習が実施されました。安全に配慮しながら郷土料理に挑戦、各グループで協力しながら調理していました。山城樹里さんの感想には「アーサ汁は皆より味がうすかったです。だけど、うまく作れたので良かった。みんなケガをしないで最後まで出来たので大成功! だな～って思った。」各グループの料理、見た目や味も良かったです! 智子先生の安全や時間を配慮した準備の丁寧さに感謝です。



「主体的・対話的で深い学び」

技術科：1 年 5 組【大城友喜 教諭】**～自分の作品を言葉で表現、互いに評価し改善策を検討!!～**

6 月 30 日に 1 年 5 組で大城友喜教諭による技術科の公開授業が実施されました。この授業は、各グループにて各自が制作したペンケースを紹介（作品のテーマ・工夫、苦勞した点等）し、付箋紙を用いて作品の良い点・改善策等を評価していきました。右の写真の矢印部分にあるように「すき間をかくすためにハートをつくって隠した所がすごい」「角がまるい」などの良い点や「(釘の) 打ちまちがいが多い」など互いに評価しました。



さらに全体で共有するために、グループの代表がビデオカメラを使い作品を電子黒板に映し出ししながら工夫・苦勞した点などの改善策を発表しました。(左写真)

この授業の素晴らしい点は、自分の作品を言葉で表現したり（主体的）、グループ活動において意見を聞くことで改善策を思考し（対話的）、多様なアイデアを共有することで、さらなる工夫や創造（深い学び）に繋げる授業でした。また、付箋紙やワークシート、カメラを使用した発表など様々な工夫が見られた授業でした。さらに、技術室という様々な道具のある教室において、安全を確保するための授業に臨むルール（規律）や互いに思いやり意見を述べ合う（支持的風土）雰囲気は見事でした。友喜先生、1 年 5 組の皆さん、たいへん良かったです。

「主体的・対話的で深い学び」

社会科：1 年全クラス【内山直美教諭】

アジア単元まとめ

～ミードゥ島から考えるアジア州の生活と環境!!～

6 月 30 日に 1 年全クラスで内山直美教諭による社会科の公開授業が実施されました。スタートは、南アジアに属するモルティブの「ミードゥ島」に関連する下の 4 枚の写真をもとにグループでストーリーを考えることから始まりました。アジア州の生活を紙芝居形式で発表し「ミードゥ島の人々が水をくみにいっている」「子どもがタンクから水を・・・」「髪を洗っている」「海から?」「井戸水をくんで運んでいる」などグループ全員で発表しました。その後、この写真を送ってきた JICA（独立行政法人国際協力機構）の長谷川さんの手紙が読まれました。



《左の写真を見ながら下の説明文を読んで下さい》

- モルティブは約 1200 の島々からなりミードゥ島はその一つ。人口約 500 人で 1 周歩いて 15 分程の島。
- 私の活動場所は美容室。写真はシャンプーの練習。井戸水（トイレの水がしみこんだりする場合もある）を使う。最後は雨水で流す。
- 小学校 2 年生のモハメッドが学校に行く前に水を飲んでいる。タンクの中は雨水。ルールがあり必要な時に雨水は使う。側にある洗面器 2 杯分で家族（15 人分）の食器を洗う。
- 井戸水を家まで運んでいるのは友達のソフィー・ナズナ・アイシャ。10 月～ 3 月の乾季に雨が降らないのでタンクはカラッポ。井戸水に薬を入れて使用。

【概要】『皆さんが使う水はどんな水?』『日本の水道水は優れている?』『皆さんの家では水は流しっぱなし?』『雨季に入りバケツを持って雨水をためる少女』の写真を紹介し、『少女はどんなことを思っているか?』など長谷川さんの問いについて考え、発表・意見・疑問を積極的に出し合っていました。そして最後にミードゥ島の人々の会議において「ウォーターサプライ（海水を真水に変える機械の導入）事業を多数決で拒否した」こと、その理由は「人間も自然の一部である」との解釈で「我々のように水が当たり前のようにある環境」と比較して「ミードゥ島の人々の考えをどう思いますか?」で締めくくられました。あなたは どう思いますか? この授業のすごい所はミードゥ島のことを通してアジアの位置関係、雨季と乾季の気候、赤道直下の地球的視野などの知識をもとに暮らす人々の生活環境について考えることができるという点です。内山直美先生の教材準備の苦勞に 1 年生が応えた授業でした。ありがとうございました。



「主体的・対話的で深い学び」

文字と式

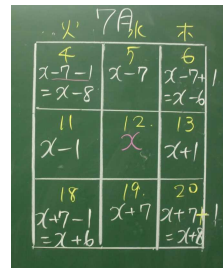
数学科: 1 年 5 組【酒屋 毅 教諭】
～消えたカレンダーを復活させよう!!～

7 月 6 日に 1 年 5 組で酒屋毅教諭による数学科の公開授業が実施されました。下の問いに対してカレンダーの中の囲まれた 9 つの数についての関係、規則性を理解し、自分の言葉で説明、文字を使って表せることを目標に授業が展開されました。カレンダーという身近な事象を教材にすることで、生徒に興味・関心を持たせる工夫やグループで解くこと、与えられた文字式で表すなどの約束を決め意見を出し合い、協力して問題に取り組んでいました。

(問い) カレンダーの数字が消えてしまっています。デートの約束をした日が分からなくなってしまった。でも、たった 1 箇所だけの数字だけが偶然残っている。デートの日はこの回りの日だったことは覚えている。回りの数字が分かれば思い出せそう。そこで、まずはこの 1 箇所の数字の回りの 9 ますから何とかカレンダーを復活させたい。」皆さん、先生を助けてくれないかな?。」

※どのようにして、空欄を埋めたか言葉で説明できますか?

※分かっている数の場所に x をおいて空欄の求め方を文字式で表すことができますか?



「主体的・対話的で深い学び」

英語科: 3 年全クラス【阿波連美奈子・大山美和 教諭】
～クリスマス先生(AET)にインタビューをしよう!!～

7 月 6 日から 3 年全クラスで阿波連美奈子教諭と大山美和教諭による英語科の公開授業が実施されました。この授業は、これまで習った英語の知識をもとに AET のクリスマス先生にインタビューをしようという内容です。インタビューの内容についてグループで話し合い実践的な英語によるコミュニケーション能力を高める授業です。表情・つなぎ言葉・発音などに気をつけながら各グループ楽しい雰囲気の中でインタビューが行われていました。「クリスマス先生の答えに少し戸惑ってしまったけど、(仲間と協力して) 雰囲気で伝えることができ、サポートされたりして質問することができた。」などの感想がありました。これからの時代、IT や国際化など英語は重要になってきます。生徒の皆さんへは英語によるコミュニケーション能力を高めていくことを期待します。インタビューからクリスマス先生のことが少しわかったそうです。



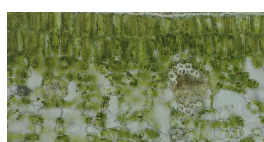
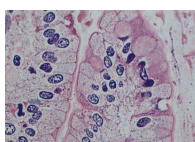
あなたは、理解できますか?

「I'm bad at nakami soup」

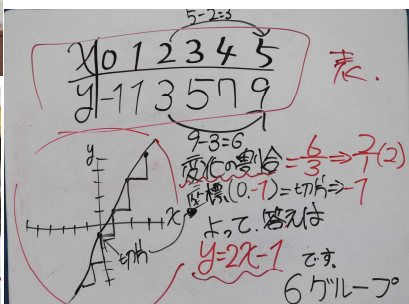
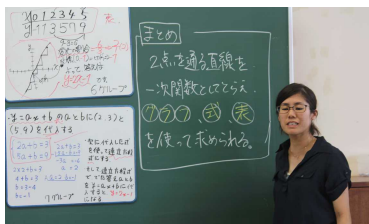
「主体的・対話的で深い学び」

理科: 2 年 1 組【亀川善久教諭】
～植物と動物の細胞のつくりの共通点と異なる点を見つけよう!!～

7 月 18 日に 2 年 1 組で亀川善久教諭による理科の公開授業が実施されました。各グループで下の写真の植物と動物の細胞を比較しながら、「細胞の大きさ・粒や空気」の量」「部屋が多い(細胞を部屋に例えて)」「境目がはっきりしていない」など、活発な意見交換がなされました。皆さんは、どれが「ツバキの葉」「ヒトの小腸」の細胞か? わかりますか? A B



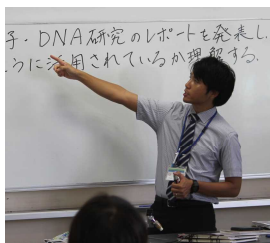
「主体的・対話的で深い学び」

数学科：2 年 3 組 【新里和歌子 教諭】**一次関数****～ 2 点を通る直線の式を求める方法を考えよう !! ～**

9 月 25 日に 2 年 3 組で新里和歌子教諭による数学科の指導主事招聘（公開）授業が実施されました。島尻教育事務所の指導主事、高嶺中の数学の先生方や教育実習生が参観する中、「2 点 (2, 3)、(5, 9) を通るとき一次関数を今まで習った方法を使って解こう」という課題に対して、個人で解いた方法をお

互いグループで紹介し、グループで導き出した答えを発表し、全体で共有するという内容でした。グループで様々な解答を出し合い、最後のまとめで確認したように「1 次関数の表・式・グラフを関連づけて考えること」ができた授業でした。多くの先生方の参観にもかかわらず、2 年 3 組の皆さんが頑張ってくれました。和歌子先生ご苦労様でした。

「主体的・対話的で深い学び」

理科：3 年 1 組 【三浦浩之 教諭】**～ 遺伝子や DNA 研究は、生活のどのような場面で活用されている？ !! ～**

9 月 25 日に 3 年 1 組で三浦浩之教諭による理科の指導主事招聘（公開）授業が実施されました。島尻教育事務所より指導主事や多くの先生方が参観する中、「遺伝子や DNA 研究について調べたレポートを発表し、自分の生活のどのような場面で活用されているのか」を理解する授業でした。遺伝と遺伝子に関する単元で、今まで学んできたことから、気になること、疑問に思ったことについて個人で調べ、グループの仲間にレポートを読み上げる発表形態の授業でした。生徒の皆さんは真剣な表情で聞き、発表後の質疑においても活発な質問が出ていました。そこには、三浦先生の「質問された場合、分かりませんと答えるのではなく、私は分からないけどあなたはどのように考えますか。」というアドバイスが生きていたのではと思います。その後、グループの代表者が学級全体で発表し、各グループの内容を共有した授業でした。この授業では、各発表場面において「何を、どのように発表するのか」の視点が明確されていることから活発な意見がでて、より深く、広い知識を得る時間となった授業でした。

3 年 1 組の皆さんを見てみると、将来が楽しみになりました。浩之先生ご苦労様！

「主体的・対話的で深い学び」

授業改善に向けて !! 3 学年で公開授業を実施**～ 主体的・対話的で深い学びを...! 授業力の向上をめざして～**

9 月 22 日 6 校時に授業改善の視点から 3 年の各クラスで一斉に公開授業を実施しました。生徒の「学び合い高め合う姿」をイメージしながら「主体的・対話的で深い学び」の視点で公開授業を行いました。琉球大学の先生にも参観してもらい助言を受けながら、各先生方の授業改善を意識した質の高い授業をめざした取り組みです。

【国語科 宮平圭一郎 教諭 3 年 3 組】

「論説文における筆者の根拠となる場面を読み取ること」をねらいに、「今後、火星に住めるかどうか？」・・・授業の導入において興味・関心を持たせながら個人・グループで読み取りや気づきを促し、共有していく授業でした。

【道徳 阿波連美奈子 教諭 3 年 1 組】

資料「私のせいじゃない」をもとに、登場人物の立場になって考え、「自分にできること」「知っていながら何もしない」「知ろうとしなければ何もかわらない」など身近な生活や社会問題について主体的になることが大切であるという授業でした。

【社会科 小波津カヨ子 教諭 3 年 4 組】

「文化や個性の多様性を踏まえ、自他の人権について考えること」をねらいとし、12 枚のカードを「あってよいちがよい」「あってはいけないうちがよい」に分類しながら互いの意見を聞き、人権について考える授業でした。



抜粋：(カード 8) D 町の町営バスは中学生は有料だが 65 歳以上の高齢者は無料で乗れる

抜粋：(カード 9) 女性は 16 歳で結婚できるが男性は 18 歳にならないと結婚できない

【理科 三浦浩之 教諭 3 年 2 組】(上記中段と同内容)
「遺伝子や DNA 等が、自分の生活のどのような場面で活用されているのか」を学び合う授業でした。